



Next

発行所 (社)茨城県建設業協会・建設未来協議会
〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-22
電話 029 (221) 5126 (代)
発行人 大 貫 茂 男
編 集 日本工業経済新聞社水戸支局

平成23年度基本方針

建設未来協議会 会長 大 貫 茂 男

東日本大震災により、亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、円高・株安やデフレ問題に直面し、回復の兆しささえ見えない不安定な経済状況の中、地球規模で激震が走りました。1月にはハイチ地震、続く2月には南米チリ地震、更にスマトラ沖やインド洋等でもマグニチュード7.5以上の巨大地震が、続けて発生しました。

そして今年の3月11日、東北地方太平洋沖地震(M=9.0)が発生、死者・行方不明者を合わせて2万6千人を超える未曾有の被害となりました。

またこれらの甚大な被害に加え、東京電力福島第一原子力発電所において重大な事故が発生しました。放射性物質の飛来や高濃度汚染水の放出等で人



的影響はどれ程のものなのか、農畜水産物の出荷制限や風評被害による農畜水産業や観光業への影響も極めて深刻であります。このような1,000年に一度と称される局面に対し、政府の力強い指導により被災された方々の生活再建や、地域産業の経営再建に対する財政支援を緊急にお願いしたいものです。

さて今年度も事業計画に基づき、4つの委員会と6つの地区会の活動を中心に進めてまいります(詳細につきましては、別項の委員会・地区会からの事業計画(案)とさせていただきます)。会員の皆さんが積極的に参加、協力することにより有効な情報を学び共有し、全県下にネットワークを形成することから生まれるメリットを、各企業で最大限に活かしていただきたいと思います。

東日本大震災は、想像以上の地震とそれに伴う津波により、多くの尊い命と巨額な資産を一瞬にして奪い去っていきました。その爪あとには余りにも深く、とても想定外という言葉では片付けられませんが、復興に向かう日々の中、震災の経験を通じて得たものや新たな発見もあったと思います。

我々が今、目の前で見た悲しい事実をしっかりと検証し、今後の災害対策の見直しをして、後世に繋げて行く事こそが経験した者の使命であると考えます。

また今回の大震災で、我々が社会資本整備・建設事業を通じて日ごろから培ってきた技術力や機動力、さらにノウハウを活かし、災害復旧作業を通じて地域の安全・安心な生活を守ることや地域に信用・信頼される企業になることが、我々業界の社会的責任だと、改めて強く感じました。

今年度も協会本部のご指導をいただきながら、皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。会員並びに関係各位の皆様方の更なるご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

平成23年度 第19回定時総会を開催

— 地域の安全・安心な生活を守り信用・信頼される企業になることが、われわれ業界の社会的責任 —

総務委員会 後藤 一憲

本協議会の平成23年度第19回定時総会は、5月27日(金)午後4時より水戸市フェリヴェールサンシャインにおいて、会員58名が出席し開催された。

定期総会は、3月11日に三陸沖で発生した東日本大震災で亡くなられた方々へ黙祷をささげ、静粛な中に幕を開けた。冒頭での大貫会長の挨拶では会員にむけて、震災直後から昼夜を問わず不眠不休での応急復旧作業に対し、感謝の言葉が送られた。続いて、(社)茨城県建設業協会の尾曾副会長より「更なる社会への建設の理解を！」と力強い激励も送られた。

その後、規約により大貫会長が議長に指名され、次の議案審議が行われた。

第1号議案 平成22年度事業報告の件

第2号議案 平成22年度収支決算報告の件



大貫会長ほか新役員が抱負

監査報告

第3号議案 平成23年度事業計画(案)の件

第4号議案 平成23年度収支予算(案)の件

第5号議案 役員改選の件

(仮議長：小薬副会長)

各議案は、いずれも原案どおり承認され、この結果、会長には大貫現会長が再任、人材育成担当副会長に(株)五霞建設の菊地和幸氏、地域貢献活動担当副会長に大昭工業(株)の木村晃氏が新たに選任された。

再任にあたり大貫会長は、「更なるリーダーシップを発揮し事業に取り組む」と挨拶し、「改めて、地域の安全・安心な生活を守り信用・信頼される企業になることが、われわれ業界の社会的責任である」と話した。

議案審議後、来賓挨拶で茨城県土木部の鈴木守技監(総括)は、「震災当初から、迅速な応急復旧への対応に本当に感謝している」と話し、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の児玉好史所長も、「大震災後の本日、昨年同様に皆さんの元気な



来賓から激励のあいさつを頂いた

姿を拝見し安心した」と述べていた。

また、総会終了後は懇親会(卒業式)へと移り、そのまま多数の来賓の方にも出席頂き卒業生と活動の思い出を語り、盛況に幕を閉じた。

関東地方整備局宇都宮営繕事務所との 意見交換会を開催

監事 鈴木 勝彦

1月27日(木)茨城県建設業協会にて、これからの建設業の未来についての意見交換会を実施しました。宇都宮営繕事務所からは福岡事務所長が出席され、建設未来協議会からは、大貫会長をはじめ役員13名が参加しました。

意見交換会では、発注者側の考え方、請負者側の考え方が建前だけではなく本音で話をする事ができました。特に福岡所長からは、「未来に向けて若い世代の人材確保と技術者の育成」が重要であるのではないかと言うお話がありました。当日配布された資料の中にも「大学生を対象にゼネコンへの就職に関するアンケート」がありましたが、あまり良いイメージがないこともわかりました。高齢化社会が進む中で、仕事があっても人がいないと言うことのないように、「魅力、やりがいのある職場づくり」を心がけて経営することを改めて実感した意見交換会でした。



*宇都宮営繕事務所…栃木県、茨城県(つくば市を除く)管轄区域で、建築物の新築、増築、修繕、模様替え等を監理監督する事務所。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiyaez/>

委員会紹介

総務委員会

担当副会長 梅原基弘
委員長 吉田長邦

総務委員会は、5月27日に実施いたしました定時総会、茨城県土木部ならびに国土交通省との意見交換会などの研修会、また11月に開催する親睦行事などの未来協議会全体の事業の企画運営を主に活動し、その他には、季刊誌NEXTの企画・編集・発行、会員名簿の作成や役員会の運営、会員の連絡調整および情報提供などの活動を行います。担当副会長の梅原副会長と委員会メンバー14名で、今年度も活発に活動いたしますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

<今年度の主な事業>

1. 季刊誌NEXTの企画・編集・発行
2. 総会、役員会の企画運営
3. 各委員会、地区会、会員への連絡調整、情報提供
4. 未来協議会の予算決算に関する業務
5. 会員名簿の作成
6. 各発注機関との意見交換会の開催及び運営
7. 親睦行事等の開催及び運営



茨城県土木部との意見交換会 ▲

人材育成委員会

担当副会長 菊地和幸
委員長 篠崎尚史

人材育成委員会は次世代を担う高校生及び専門学校生等を対象とし、建設事業の正しい理解とその魅力を伝えるべく活動しています。主な事業は協会員企業様の多大な協力のもと実施している「現場実習」と県内の大規模プロジェクトを見学する「現場見学会」です。本年度も数多くの学校と連携等を取りながら委員会全員で力を合わせ活動してまいります。

<今年度の主な事業>

1. 高校生・専門学校生を対象とした現場実習の実施
2. 高校生・専門学校生・大学生を対象とした現場見学会の実施
3. 高校・専門学校教師との意見交換の実施
4. 会員企業のための勉強会の実施（現場見学会）



現場見学会 ▶

地域貢献活動委員会

担当副会長 木村 晃
委員長 山崎 剛

地域貢献活動委員会の主な担当事業は「建設フェスタ」の企画・運営です。

17回目となる「建設フェスタ」は今年も10月23日に開催の予定です。例年大勢のお客様を迎え、建設業のPRを行っていますが、今年は、東日本大震災の復旧・復興に取り組む、我々建設業関係者の姿を広報し、社会資本整備の大切さを改めて伝えたいと考えています。

「建設フェスタ」が楽しく盛大なイベントになるように、委員一丸となってしっかり準備したいと思えます。

<今年度の主な事業>

1. 建設フェスタ2011の企画開催
2. 献血、骨髄バンクドナー登録会の開催
3. パンフレットの作成等の広報活動

建設フェスタ2010集合写真 ▶



建設システム委員会

担当副会長 端 利一
委員長 柴 直樹

建設システム委員会の事業内容は、経営力強化のための講習会の開催を企画しています。

また、本年度は、建設未来協議会のホームページの製作を当委員会で行うことになりました。建設未来協議会の活動、そして建設業の魅力等を外部に向けて発信し、一般の方に、少しでもご理解と興味を持っていただけるような内容にしたいと思っていますので、各委員会、各地区会、そして、各会員の皆様にも掲載記事のご協力をお願いします。

<今年度の主な事業>

1. 経営力強化のための講習会の開催
2. ITを活用した広報活動の実施・研究
3. 未来の建設業のあり方についての調査研究

橋梁の長寿命化に関する講習会 ▶



平成23年度 建設未来協議会 年間行事予定表

月	時期	全体行事	役員会	総務委員会	人材育成委員会	地域貢献活動委員会	建設システム委員会	水戸地区会	高萩・太田地区会	大宮・大子地区会	鹿行地区会	県南地区会	県西地区会
4	上旬												
	中旬												
	下旬		・役員会 会計監査										
5	上旬												
	中旬		・役員会	・第1回委員会									
	下旬	・27日 定時総会		・27日 定時総会	・第1回委員会 ・学校との意見交換・日程調整	・フェスタ実行委員会(幹事会)							
6	上旬												
	中旬		・役員会	・第2回委員会	・第2回委員会 ・現場実習受入企業との打合せ	・第1回委員会	第1回委員会	・地区総会 及び懇親会				総会	
	下旬			・会員名簿発行	・猿島高校オリエンテーション実施	・第1回建設フェスタ実行委員会		・地区総会 及び懇親会	・地区総会 及び懇親会				
7	上旬				・県央地区オリエンテーション実施 ・猿島高校現場実習 ・水戸農業現場実習			・地域貢献(除草)			地区総会及び懇親会		地区総会及び懇親会
	中旬		・役員会	・ネクスト発行 第3回委員会	・県南地区オリエンテーション実施	・第2回建設フェスタ実行委員会	第2回委員会					常総国道事務所との意見交換会	常総国道事務所との意見交換会
	下旬		・県との意見交換会	・県との意見交換会	・県南地区現場実習 ・下館工業オリエンテーション実施 ・下館工業現場実習 ・水戸日建工科専門学校現場実習	・第2回委員会							
8	上旬					・第3回建設フェスタ実行委員会			・夏季地区研修会及び懇親会		・道の日、道路清掃活動への参加		
	中旬		・役員会	・第4回委員会		・第3回委員会	第3回委員会	・水戸土木事務所との意見交換会	・太田土木事務所との意見交換	・研修旅行			
	下旬												
9	上旬		・関東建設青年会議総会		つくば工科高現場見学	・第4回建設フェスタ実行委員会							
	中旬		・役員会	・第5回委員会		・第4回委員会	第4回委員会	・視察研修旅行		・常陸大宮土木・大子事業所との研修会			
	下旬				文化デザイナー学院現場実習							土木事務所との意見交換会	
10	上旬				・筑波研究学園専門学校現場見学	・第5回建設フェスタ実行委員会							
	中旬		・役員会	・第6回委員会	・水戸日建工科専門学校現場見学 ・茨城大学工学部現場見学	・第5回委員会	第5回委員会						
	下旬	・建設フェスタ(地域貢献活動委員会担当)			・水戸農業現場見学	・建設フェスタ(23日)		・建設フェスタ協力	・建設フェスタ協力	・建設フェスタ協力	・建設フェスタ協力	・建設フェスタ開催支援	・建設フェスタ開催支援
11	上旬				・下館工業現場見学 ・水戸工業現場見学								
	中旬		・役員会	・第7回委員会			第6回委員会						
	下旬	・20日 忘年会 親睦ゴルフ(総務委員会担当)	・全国建設青年会議全国大会	・19日 忘年会 親睦ゴルフ				・地域貢献活動(中学生体験学習)		・地域貢献活動の開催(小学生体験学習)	中学生体験学習の開催	現場実習支援	
12	上旬					・第6回建設フェスタ実行委員会		・冬季地区研修会及び懇親会		・冬季地区研修会及び懇親会			
	中旬		・役員会	・第8回委員会		・第6回委員会	第7回委員会		・冬季地区研修会及び懇親会		・地区会開催(忘年会)		
	下旬												
1	上旬											地区研修会・親睦会開催	
	中旬		・役員会	・第9回委員会	・第3回委員会		第8回委員会						
	下旬												
2	上旬												
	中旬		・役員会	・第10回委員会	・第4回委員会及び反省会		第9回委員会						
	下旬											献血ボランティア	
3	上旬												
	中旬		・役員会	・第11回委員会			講習会開催						地区研修会及び音信会
	下旬												

事業継続計画BCPの策定・実施にむけて

建設システム委員会 委員長 柴 直樹

22年度最後の事業として、「事業継続計画BCPの策定・実施にむけて」の講習会を開催し、27名に参加頂きました。講習会は第1部に、国土交通省関東地方整備局企画部防災課高松良行様を講師にお招きしました。災害時の事業継続力計画の作成時の留意点について、具体例を交えながら丁寧なご講義を頂きました。

第2部では、BCPを取得している(株)鶴田組代表取締役鶴田哲男様、そして(株)小薬建設のBCP担当者板橋様に「BCPの策定のポイントと留意点」について、御講義いただきました。

講義中は、「もし、大地震が起きたら…」との想定の中で、BCPを取得するために、どのような準備が必要かを考えておりました。しかし、翌日の3月11日には東日本大震災が、想像を絶する津波とともに、私たちに襲いかかりました。

携帯もメールもつながらず、被害状況の情報収集も出来ず、前日の講習会での高松行夫様が講義されていたことが現実のものとなり、事業

継続計画BCPが、いかに重要であるかを身を以て感じました。

実際に大地震を経験したことで、出来ること、出来ないこと、今後やらなければいけないことが見えてくると思います。また、この経験を形に残して、未来に伝えていく責任が私たちにはあると思います。

会員の皆さまには、この事業継続計画をひとつの基盤として、独自のBCPを策定して頂ければと思います。



平成23年度 建設未来協議会卒業生 名簿

地区	氏名	商号
高萩・太田	田岡 慎輔	田岡建設(株)
高萩・太田	松崎 行夫	多賀土木(株)
大宮・大子	橋本 直行	橋本建設(株)
大宮・大子	山崎 浩	那北建設(株)
鹿行	藤枝 洋二	藤枝建設(株)
県南	関 政弘	関建設工業(株)

地区	氏名	商号
県南	松浦 一久	松浦建設(株)
県西	大内 康意	大内建設(株)
県西	小薬 拓巳	(株)小薬建設
県西	大堀 和久	(株)大堀工務店
県西	中村 裕之	(株)中村組
県西	福島 勝	(株)福島工務店

未来協議会会員募集!

本会は建設業に従事する次代を担う経営者が魅力ある建設業の創造と発展に寄与する事を目的として設立され、会員の資質を高めるための研修・会員相互の親睦・経営の合理化及び労働環境改善に関する調査研究・建設業のイメージアップのためのPR活動・協会の事業に対する協力などの事業を行っております。

会員資格
年齢が平成23年3月末現在、満49歳以下の方

詳細は建設業協会本部事務局までご連絡ください
TEL 029-221-5126 担当 鈴木・関

会員体験談 細谷建設工業(株) 細谷 貴弘 (平成 22 年 5 月入会)



建設未来協議会に入会して一年がたちました。会社では営業部に所属しているのですが、建設業に携わることも一年目の私にとっては、他社の方々と交流を持つ機会は決して多くはありませんでした。そんな現状の中で、未来協議会の委員会や行事等に参加することで、多くの県内会員の方々と交流し、親睦を深めることができました。会員の方と意見交換や様々な相談をさせていただくことは、経験の少ない私にとってはとても貴重な時間で、日々多くのことを勉強させてもらっています。これからも未来協議会の活動を経て、成長していきたいと思えます。

平成23年度 建設未来協議会新規会員 名簿

地区	氏名	商号	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	承認日
県西	大坂 寛暁	大坂建鋼(株)	300-2741	常総市国生1448	0297-42-4281	0297-42-5809	H22.7.14
水戸	小池 良一	(有)小池工務店	309-1632	笠間市飯合572	0296-74-4323	0296-74-4395	H22.10.13
県西	仲川 将大	(株)仲川建設	308-0101	筑西市井上1356	0296-37-3753	0296-37-6886	H23.2.17
県西	鮎川 和男	飯田建設興業(有)	308-0104	筑西市木戸469-1	0296-37-6206	0296-37-5923	H23.2.17

編集後記

今年もまた夏が近づき、我が家の「グリーンカーテン計画」がスタートしました。今年はきゅうりと西洋あさがおにしました。昨年の失敗を参考に、深めのプランターを用意し水切れを予防、病気には早めに対処して…と、今年こそはと意気込んでいます。(N・S)